



印刷コンポーネント “CoReports” のDelphiでの利用

(有)シンクソフト
安達 直人

(有)シンクソフト について

- 業務システムの受託開発や開発支援を行っています。
要件定義～、外部設計～、内部設計～、製造～ 各種工程から対応。
主として、中小企業向け・大手企業の部門の業務システム、
パッケージソフトのカスタマイズなどを受託し、開発を行っています。
- 開発言語は、基本的にD e l p h iを使っています。
- D e l p h i開発でいろいろなお客様のところへ伺うのですが、その中で印刷はどうしているという話がよく出ます。
- 今回は、弊社で使っている、 C o R e p o r t s の紹介をしたいと思います。

CoReports について

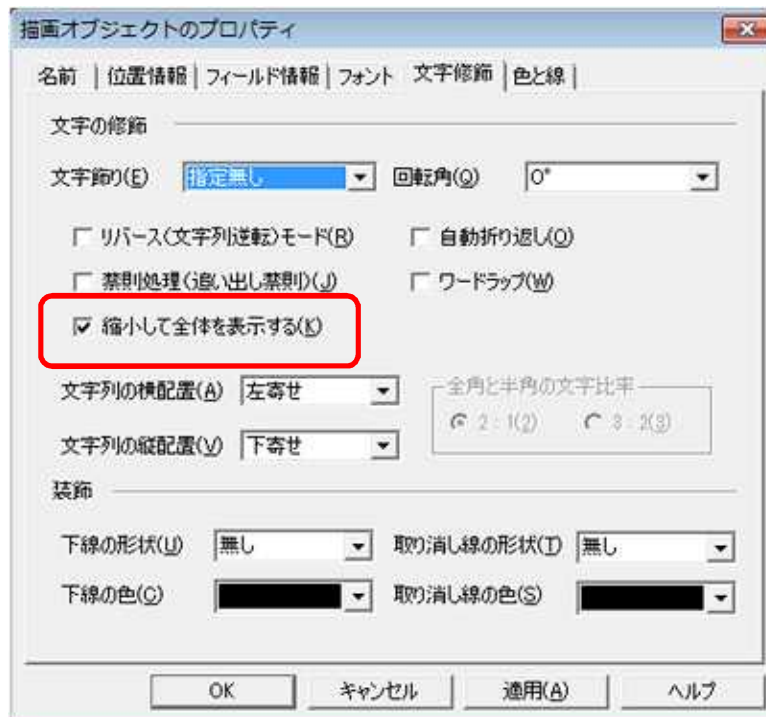
- H・O・S社(名古屋市)が開発した、ActiveXコンポーネントとして提供されています。
- 今のところ32ビット版しかありません。問い合わせたら、リリース時期は未定だが、いま64ビット版の開発中らしいです。
- 特徴としては、帳票のレイアウト情報は、独自のフォームファイルとしてプログラムとは別に管理することができる形態になっています。
- 弊社では、何年か前、ある受託開発案件で使用し、気に入り自社の開発で使っています。
- 伝票のように固定レイアウトの帳票は、CoReportsを。可変レイアウトの連続帳票は、QuickReportを。というように使い分けています。
- ちょっと高いのがネックではあるが、固定レイアウトを多数必要とする企業様、受託開発会社様には、コストパフォーマンスに優れたものだと思います。

特に気に入っているところ その1

- 帳票のレイアウト情報は、独自のフォームファイルとしてプログラムとは別ファイルで作成される。
 - (1) 簡単なレイアウト変更であれば、フォームファイルの変更
だけ済み、プログラム変更の必要がない。
 - (2) 同じデータで、レイアウトの違う帳票が必要なとき、このフォームファイルの切り替えで対応できる。
例) 宛名書き(葉書/封筒etc)
送り状(複数運送会社を利用)=>後ほどサンプルP G
行数の異なった一覧表
 - (3) フォントの書式指定などが細かく設定できる
その2、その3で具体的に

特に気に入っているところ 2

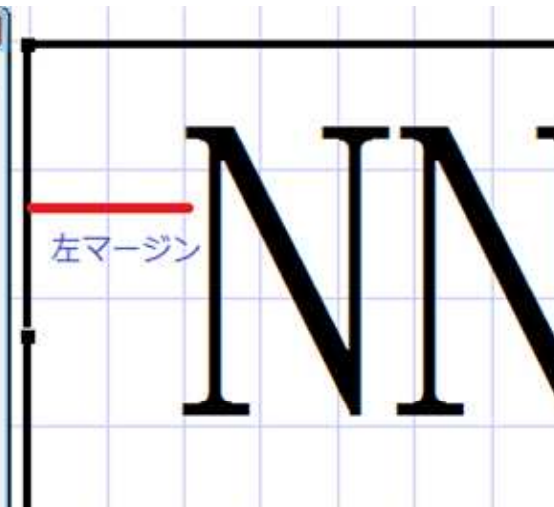
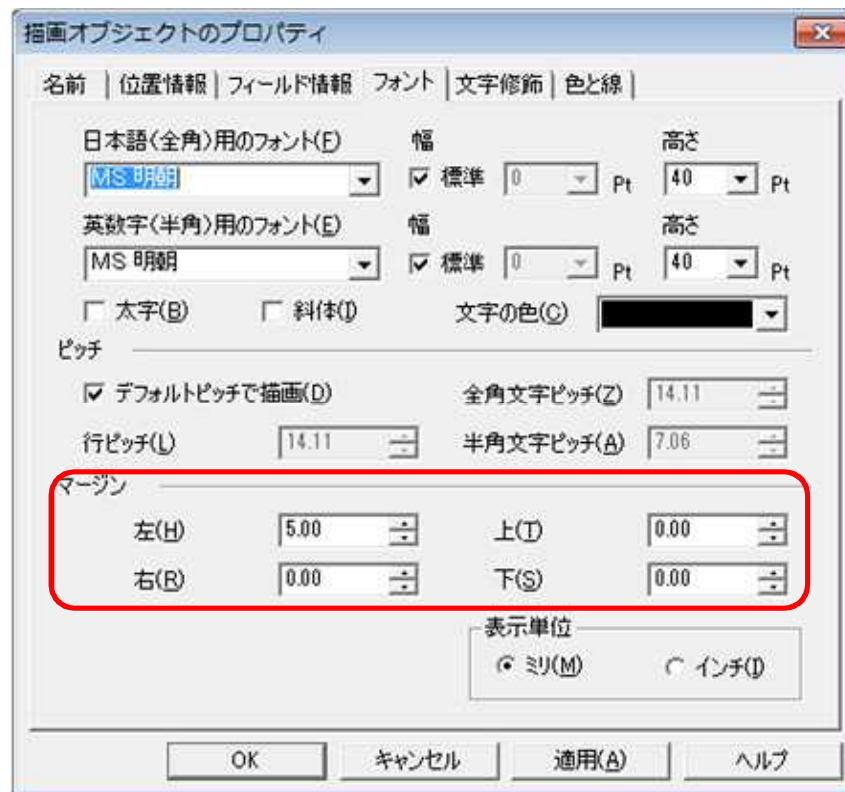
- データフィールドのオブジェクトで、“縮小して全体を表示する”プロパティがある。



最大文字数を考慮するとどうしても空白分が多くなる帳票になってしまいが、このような問題を回避できる。

特に気に入っているところ 3

- 描画枠内に表示する文字について、外枠線とのマージンが指定できる。グリッド出力で個別のセルでもできる。



これは、表(グリッド)でも、セル単位で可能です

デモ前に

- 弊社でも取り扱っています。
- メーカーでは、正式にDelphiをサポートしていません。そのため、弊社でお求めの場合、弊社で実績のあるプログラムをベースに作成したサンプルプログラム(現在準備中)をつけて販売します。
- サンプルプログラムだけでも販売予定です。
- 興味を持ちましたら、弊社HP等より、お問い合わせください。

では、デモへ